笠岡市新病院建設工事に係る通信部門整備計画協力業務仕様書

I 概要

1. 目的

笠岡市立市民病院(以下、「当院」という。)の新病院建設に伴い、電話交換機(PBX)・スマートフォン・Wi-Fi・衛星サービスを使用できる環境を整備するもの。

2. 業務内容

以下の項目についての整備計画支援を行う。

- ①電話環境の整備 (PBX・多機能電話機)
- ②スマートフォン端末及び通信サービスの提供
- ③スマートフォン端末上で利用するアプリケーション一式の提供
- ④スマートフォン端末を利用するためのネットワーク構築, 設定, 支援業務
- ⑤Wi-Fi 環境の整備(患者用及び職員用, 配線工事含む)
- ⑥衛星通信用機器の整備

3. 端末調達台数

スマートフォン 170 台

多機能電話機及びFAXの台数については最小限とする(詳細は別途協議)

4. 納入場所

笠岡市立市民病院 岡山県笠岡市笠岡 5628-1

5. 要件

- (1)本調達に係る要求要件は、「II 提供されるサービスに係る技術的要件」に示すとおりである。
- (2)要求要件は、個別に条件が指定されているものを除き、すべて満たすものとする。

6. 導入支援

- (1)円滑な導入を図るため、当該スマートフォン端末利用者及びシステム管理者向けの説明資料を作成すること。
- (2)職員に対する研修(基本的な機能, 操作方法)を管理者向け, 利用者向けと別に実施すること。研修の方法は、当院での実施もしくはリモートでの対応とし、複数回に分けて行う。また、研修内容は録画のうえ、職員へ配布することを了承するものとする。
- (3)導入後、運用方法について当院の要求に応じて必要なアドバイスを行うこと。
- (4)契約期間中のトラブルに対する問い合わせに対応できる体制を整備すること。

7. 端末故障、紛失時等の対応

- (1) スマートフォン端末の故障・破損・紛失時及び通信環境の変化等によりスマートフォン端末が使用できなくなった場合は、所定の手続きを経て、速やかに代替品への交換を行うこと。この場合、通信事業者もしくはメーカーのサービス拠点が利用できるものであること。なお、代替品は、使用可能な状態で引き渡すものとし、キッティング費用等は、別途請求できるものとする。
- (2) スマートフォン端末故障等に備えた補償サービスを見込むこと。

8. 留意事項

- (1) スマートフォン端末の調達方法は、一括購入方式を基本とし、レンタル方式も可とする。
- (2) 支払い方法は、初期費用は一括払い、月額費用は毎月払い(利用翌月払い)を基本とし、受託者と協議のうえ定める。
- (3) スマートフォン通信契約は、5年を原則とする。
- (4) スマートフォン端末台数が将来増加した場合でも安定性に優れた通信環境を構築できること。
- (5) 必要なネットワーク設計、敷設、設定、動作試験を実施すること。
- (6) 構築に必要なハードウェア、ソフトウェア等の準備、構築を実施すること。
- (7) 梱包や運送のための段ボールなどは、受注者にて撤去すること。

9. 成果品

- (1) 完了報告書
- (2) マニュアル一式、保守体制表
- (3) 保証書
- (4) その他必要な書類

10. 見積範囲

契約期間における以下のサービス提供に係るすべての費用を見込むものとし、初期費用及び月額費用に振り分けること。費用はできるだけ初期費用に含めること。値引き金額は計上せず、値引き後の金額を計上すること。

- (1) FMCサービス提供の場合
 - ① スマートフォン端末費用
 - ② 端末故障時等の補償サービス費用
 - ③ スマートフォン端末に係る各種設定費(アプリインストール費用を含む)及び事務手続きに係る費用
 - ④ スマートフォン端末の通信費用(電話リレーサービス料及びユニバーサルサービス料を含む)及びFMCサービス使用料及び前述の機能要件を満たすためのアプリケーション等の費用
 - ⑤ 院内向け説明会開催に係る費用

- ⑥FMC 連携に係る電話交換機(PBX)と接続するための通信機器設置工事費
- ⑦ネットワーク回線利用料, セキュリティサービス, 運用, 監視などネットワーク回線及びこれに付随するサービス料
- ⑧電話環境整備費用 (PBX・多機能電話機)
- ⑨Wi-Fi 環境整備費用
- ⑩衛星通信用機器整備費用

(2) sXGP サービス提供の場合

- ①sXGP ネットワーク構築に係る設計・工事費
- ②スマートフォン端末費用
- ③端末故障時等の補償サービス費用
- ④スマートフォン端末に係る各種設定費(アプリインストール費用を含む)及びライセンスに係る費用
- ⑤2. 業務内容の機能要件を満たすためのアプリケーション等の費用
- ⑥院内向け説明会開催に係る費用
- ⑦sXGP 連携に係る電話交換機(PBX)と接続するための通信機器工事費
- ⑧sXGP ネットワーク保守に係る費用
- ⑨電話環境整備費用 (PBX・多機能電話機)
- ⑩Wi-Fi 環境整備費用
- ⑪衛星通信用機器整備費用

11. その他

- (1) 本仕様書に記載なき事項及び疑義が生じた場合は, 発注者と受託者が協議のうえ決定するものとする。
- (2) 本業務の遂行上, 知り得た情報(当院から受託者へ貸与, 受領または閲覧した資料等を含む)は, 当院の了承を得ずに第三者に漏らし, または本業務以外の目的に利用してはならない。本業務の終了後も同様とする。
- (3) 受託者は, ネットワーク構築, 機器納入及び試験調整後に当院担当者立会のうえ, 検査を受け機器の引き渡しを行うこと。

II 提供されるサービスに係る技術的要件

1. PBX 及びスマートフォンの仕様

- (1) スマートフォン基本要件

- ①通話及びアプリケーションの利用に伴い、セキュアな環境で使用できること。
- ②個人情報を含む情報の保存先は、論理上インターネット接続されていない当院の専用領域に限定されること。
- ③総務省の指針「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器等へ及ぼす影響を防止するための指針」（平成30年）及び「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（改定版）」（令和3年7月）に基づいて、電波を発する機器（基地局、スマートフォン等）からの電波による医療機器への電波干渉が発生しない機器を選定すること。

(2)通話関係

- ①PBXはオンプレミス型とする。
- ②職員用スマートフォン同士での内線通話、職員用スマートフォンと固定電話機の内線通話及び職員用スマートフォンや固定電話機からの外線発信ができること。
- ③内線電話、スマートフォン端末（内線）への内線着信をあらかじめ登録した内線に転送することができること。
- ④職員用スマートフォンの通話を、他の職員用スマートフォンに3回以上転送できること。
- ⑤内線呼出し時において、発信端末の内線番号を着信端末に通知し、着信履歴により折り返しで呼出しができること。
- ⑥笠岡市役所からの内線を着信できるようにすること。
- ⑦外線発信（0発信）した場合、相手方の端末に当院の代表電話番号を通知できること。
- ⑧職員用スマートフォンでも保留・転送・ピックアップができること。
- ⑨時間外ガイダンス機能が搭載・利用できること。また、手動およびスケジュールにて夜間切替えができること。
- ⑩ダイヤルインと内線番号の紐づけができること。
- ⑪通話録音する機能があること。
- ⑫将来用に電話（メタル、LAN配線）を配線とすること
- ⑬既存電話機（FUJITSU製 多機能電話機）が使用できること。
- ⑭職員用スマートフォンの内線はVoIPアプリ方式でないこと。
- ⑮職員用スマートフォンの内線番号の設定を職員でできるようにすること。

(3)電話帳

- ①内線電話、スマートフォン端末の連絡先を収納可能な電話帳アプリを有すること。
 - ②電話帳に収録する情報は、システム管理者が一元的に管理できる仕様とする。
- (4)スマートフォン端末と院内システムを必要に応じ連携すること。
- (5)スマートフォン端末で使用する電波は、5G、LTE(4G)またはsXGPとする。
- (6)スマートフォン端末1台当たりのデータ通信容量は、最少容量とする。
- (7)スマートフォン端末のストレージ容量は、業務に支障が生じない範囲で最低容量とする。
- (8)ネットワーク仕様
- ①通信事業者等のネットワーク網は、冗長構成となっていること。また、24時間365日監視されていること。
- (9)導入するスマートフォン全台にキッティング作業を実施すること。なお、キッティング作業については受注者が決定次第、発注者と個別に協議を行う

(10)MDMサービスを提供すること。また、管理者PCにおいて以下の操作、制御ができること。

- ①各スマートフォン端末のログ、通話履歴などが確認できること。
- ②スマートフォン端末紛失・盗難時に遠隔ロックができること。
- ③遠隔によりアプリダウンロード制限、配信、削除ができること。
- ④プリセットアプリは、アプリケーション非表示にて対応できること。
- ⑤OS のアップデート管理機能を有していること。
- ⑥Wi-Fi の利用が制限できること。
- ⑦日本語マニュアル(電子データ、オンラインマニュアル可)を用意すること。

(11)付属品として「液晶保護フィルム」「保護ケース」「充電器」「首掛け用スマホストラップ」を台数分準備すること。

(12)スマートフォンは最新の OS がインストールされていること。

2. Wi-Fi の仕様

- (1)院内で多数の端末を Wi-Fi にてインターネット接続可能にすること。
- (2)来院者および患者が利用できるフリーWi-Fi の環境を構築すること。
- (3)ドクターおよび職員向けについては、セキュアな環境を構築し、フリーWi-Fi と切り分けを行うこと。電子カルテなどの院内ネットワークとインターネット用をそれぞれ構築すること。
- (4)インターネット回線は別途指定する回線を使用すること。
- (5)ハードウェアの稼働・通信に必要な LAN 配線の敷設を実施すること。
- (6)アクセスポイント仕様及び数については、別途提示する基本設計書を元に机上設計にて提案を実施すること。詳細については、構築時に発注者と協議の上、決定すること。

3. 衛星通信用機器の仕様

- (1)Starlink Business1 台を費用に含めること。
- (2)付属品として「Starlink Wi-fi Router」「可搬用リュック」を提供すること。
- (3)配送、設置、操作方法、故障、優先データ残量に関するご相談窓口（24 時間 365 日）を設けること。

4. 保守

当院からの質問及び修理依頼に対して、少なくとも平日昼間は、電話又はメールにて対応できるようにすること。可能であれば、24 時間 365 日対応できる窓口を設けること。

5. その他

災害時にも円滑に通信・通話ができる方法を、別途提案すること。